月刊 熊本県議会議員 髙島和男がゆく

令和2年12月号

各地でグラウンドゴルフ大会

今年の秋も各地域、校区でグラウンドゴルフ大会を開催しました。コロナ禍で開催するかどうか悩み、その都度役員の皆さんに相談すると、「外の競技であること」「マスク着用など感染防止に努めること」「大会をみんな楽しみにしていること」の多くの声が寄せられ、それぞれ開催を決断したのでした。

各公民館の生涯学習講座も中止が続いており、元気な高齢者の行き場がなくなっていることが気掛かりでした。私自身もコロナ禍で地域や校区の様々なイベントが中止になり人と会うことさえままならない1年でした。参加した皆さんの間でも「久しぶり」「元気だった？」の声が聞こえてきました。各大会を通じて参加した皆さんの笑顔を見ながら外に出て適度な距離で人と会って話し、軽く身体を動かすことが1番と痛感したのでした。

熊本県政の課題解消が県議の責務であることは言うまでもありませんが、住民の皆さんに喜んでいただく機会をつくることも課せられた大事な役割と認識しています。各大会の閉会の折、来年も皆さんとお会いすることを約束したのでした。

９月１０日　城山校区　城山公園にて

９月１４日　富合町　富合野外運動場にて

１０月２１日　南部地区　南部総合グラウンドにて

１１月４日　託麻中校区　御幸中央公園にて

１１月１３日　天明地区　天明グラウンドにて

１１月２８日　日吉地区　日吉の森グラウンド

再発防止

10月18日、南区の浜戸川で釣りをしていた小学生が溺れて死亡する事故が発生しました。後日、南区ＰＴＡ役員から事故発生後の役員会の結果、再発を防ぐ対策案を幾つかまとめたので、関係機関への橋渡しをお願いしたいとの依頼を受けました。

早速関係機関に事情を説明し、内部での検討をお願いしました。その上で11月11日、県央広域本部でＰＴＡ役員との協議の場を設けました。

役員の皆さんからはＰＴＡ内の協議を踏まえて河川敷内に『浮輪』を設置してはどうか？との提案がありました。それに対して県央広域本部からは「河川敷内に浮輪を設置することに異論はありません」その上で「自然に親しむ気持ち、癒やしの空間でもある川で引き続き楽しんでもらいたい。そのためにもライフジャケットの着用を保護者や子どもたちに促してはいかがでしょう」との提案がありました（子ども用ライフジャケットの現物を確認しながら①～③の説明を受ける）。

①行政の職員も河川や海の作業、調査の場合は必ずライフジャケットを着用していること。
②ライフジャケットを着用していれば万一の際、必ず浮いて沈まないこと。
③子ども用ライフジャケットは危険を知らせる笛もついており、比較的安価で購入、取り寄せることができること。

※浮輪の設置、ライフジャケットの着用促進を含めて今後ＰＴＡとして保護者、学校とも相談を重ね、関係機関とも連携を図ってより良い再発防止策を見いだしていくことになりました。私も微力ですが継続してお手伝いをさせていただきます。

隈庄校区　交差点

過日、城南町隈庄校区のＰＴＡの役員の方々から相談を受けました。合併以降、隈庄校区は新興住宅地の開発が進み生徒数が増加しています。そこで学校から遠い距離の低学年の生徒は保護者が送迎していました。ところが登下校の時間帯に学校周辺が送迎車両で混雑するため、やむなく歩いて登下校することになりました。

一方で国道266号は時間帯を問わず多くの車輌が走行し、九州自動車道のICが設置されてからはなお一層車両数が増加しています。そのため交差点の路面が複数箇所損傷し、大型車輌が通過するたびに大きな音で子どもたちがビクッとしていたそうです。早速関係機関に連絡して改良したのでした。まだ積み残しの宿題もありますが引き続き解消に向けて取り組んでまいります。子どもたちの安全安心の確保は最優先事項です。

髙島和男事務所
届けます！あなたの思いを県政に
髙島和男サポーター募集中です！
〒862-0962 熊本市南区田迎 2-17-7
TEL.096-288-6004
FAX.096-288-6009
ホームページでは写真付日記を毎日更新！
http://takashima-kazuo.com
Facebookもやっています！